

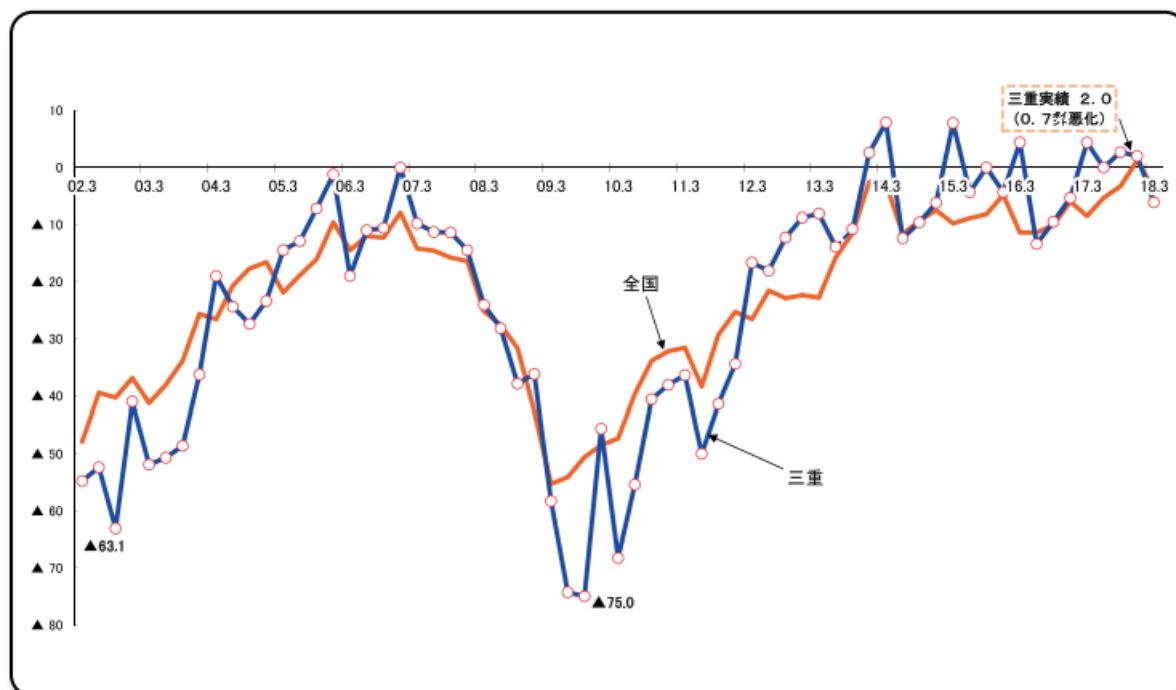
1. 金融機関景況レポート分析

【三重県信用金庫協会 公表「三重県しんきんレポート」Vol.18～20より】

●三重県内の業況

三重県内における信用金庫取引先中小企業の業況判断DIは、2017年4～6月期に前期比▲4.4ポイントの悪化となったが、その後7～9月期に+2.7ポイントと持ち直した。直近の2017年10～12月期では▲0.7ポイントとやや悪化した。通年では、DI値0.0～2.7の範囲で推移しておりプラス基調で推移している。

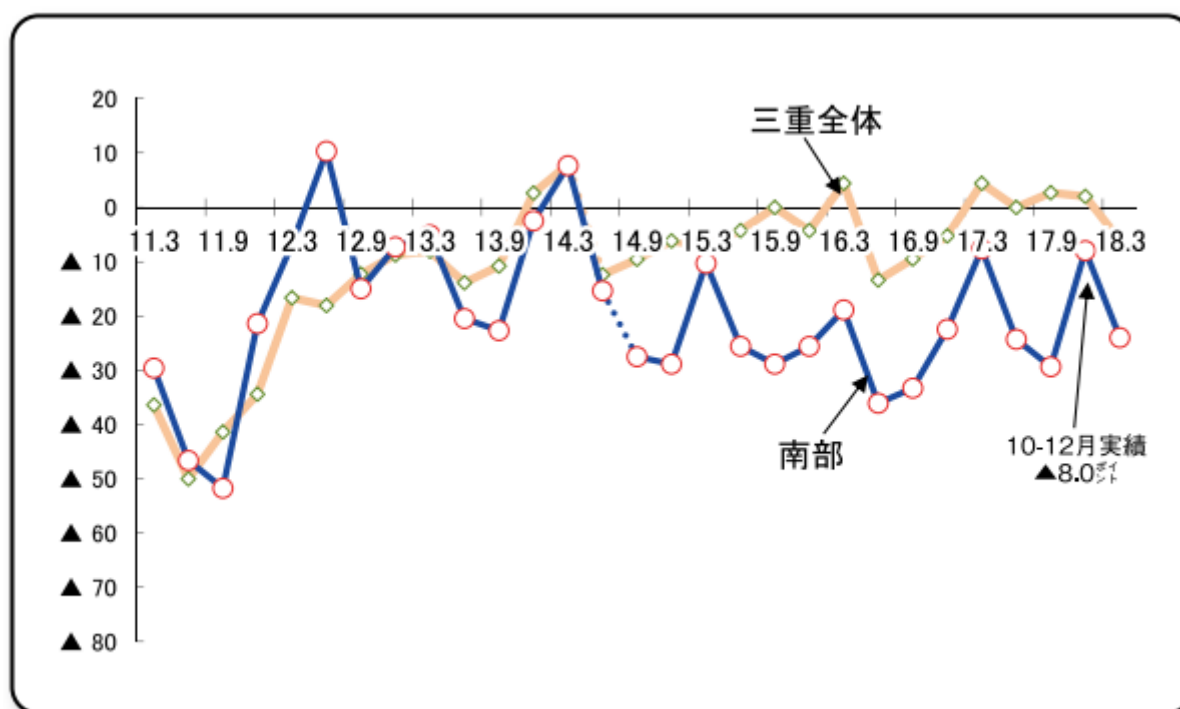
全国的には、2017年4～6月期以降3期連続で改善し2017年10～12月期はDI値1.2となり過去15年の調査で初めてプラスに転じた。全国的な景況感の改善が数値に表れており、三重県内においても景況は底堅く推移していることがわかる。



中小企業 景況判断DIの推移 (三重県しんきんレポート Vol.20より)

●三重県南部の業況

三重県南部の業況は、北部と比較するとやや改善傾向に鈍さがみられる。2017年10～12月期に前期比+21.4ポイントと大幅な改善がみられたが、DI値は▲8.0とマイナスであり、2017年を通してマイナス基調で推移した。業種別では、2017年10～12月期は前期比で、卸売業・建設業・サービス業で改善、不動産業で横ばい、製造業・小売業で悪化となった。来期(2018年1～3月期)は悪化の見通しである。



三重県南部の業況判断DIの推移 (三重県しんきんレポート Vol.20より)

2. 金融機関ヒアリング調査集計

ヒアリング項目	平成 29 年度 調査
三重県内の景気動向	<p>《A 行》 北勢は製造業を中心に上向き。南勢地域は景気回復の実感に乏しい。</p> <p>《B 行》 景気回復の兆しはなく、横ばい。</p>
管内の景気動向	<p>《A 行》 高齢化・人口減少は続くものの地域の中核をなす企業の存在、行政主導での企業誘致活動、新興住宅街の造成、大型観光集客施設の進出など前向きな材料が多く、他管内と比較して恵まれた外部環境にある。</p> <p>《B 行》 概ね横ばいで推移。</p>
融資姿勢	<p>《A 行》 設備投資（増設）や太陽光発電などの融資に依拠している。 今後も前向きな設備投資を積極的に支援。 また、小規模な創業融資・新規投資についても地域発展の観点から前向きに対応方針。</p> <p>《B 行》 積極化し融資残高はやや増加。 創業や新規事業については積極的に融資方針。</p>
資金需要の動向	<p>《A 行》 太陽光発電設備が依然として需要旺盛。 運転資金等については、変化なし。</p> <p>《B 行》 設備資金については、件数・金額ともに若干増加傾向。 同様に新規事業に関する融資も需要は増加傾向にある。 事業承継時の相続に関り資金需要がある。</p>
注目業界	<p>《A 行》 製造業の中で特色のある事業者（大手メーカーの OEM 先や下請けなど）</p> <p>《B 行》 不動産業がやや好調な業種として注目。 小売業については、やや低調な業種として動向を注視。</p>
創業等の資金需要	<p>《A 行》 小規模農業、コンビニ新規出店、飲食業などの創業に関する需要がみられる。</p> <p>《B 行》 特に変化なく横ばいで推移。</p>
商工会への要望	<p>《A 行》 特にない。</p> <p>《B 行》 定期的な情報交換。</p>